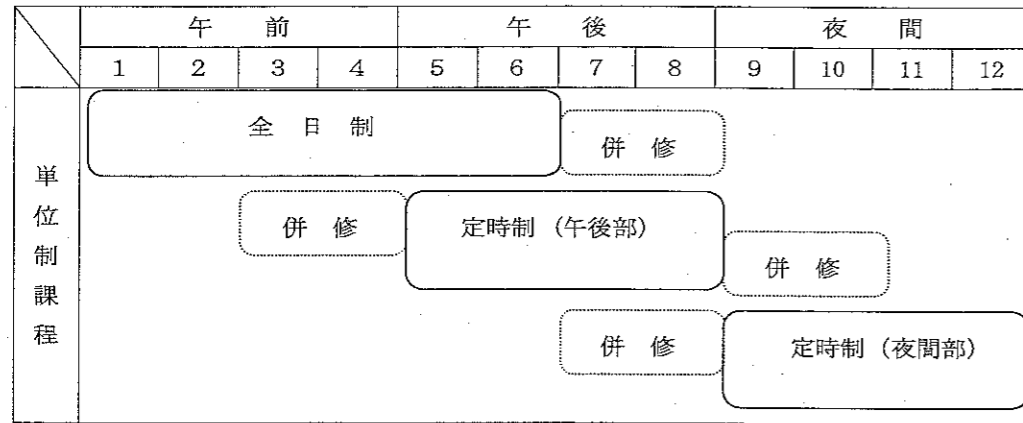
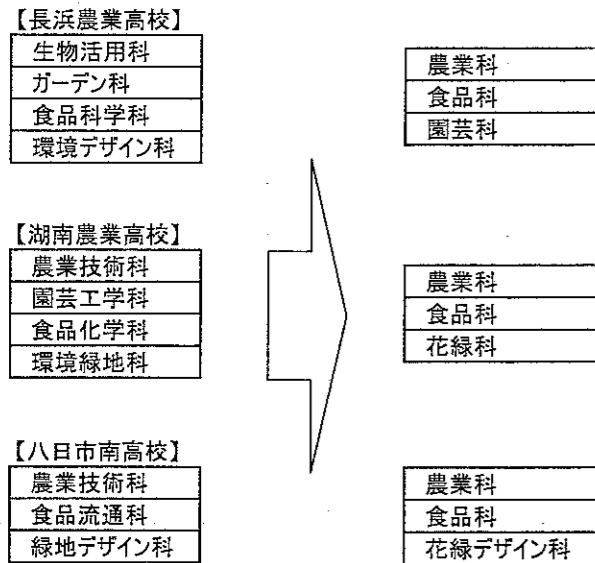


新しいタイプの学校の設置(総合単位制高校の設置)

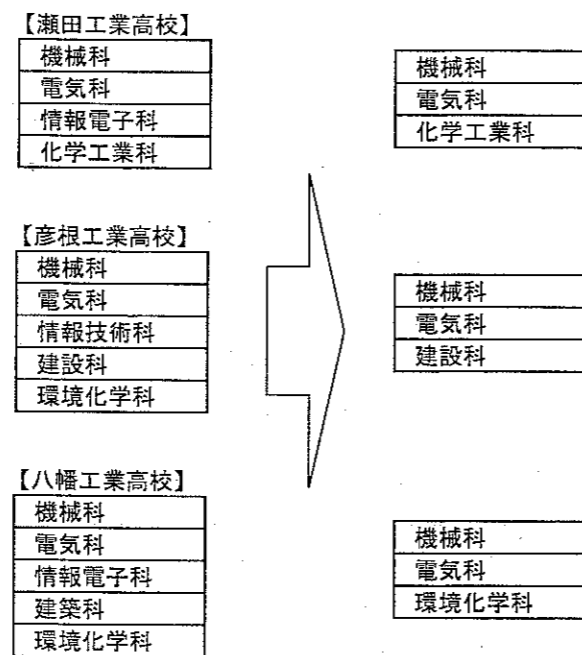
◇全日制課程と定時制課程併置の総合単位制高校のイメージ ※破線の囲みは他部併修



農業学科の小学科改編



工業学科の小学科改編・小学科集約



全日制高校の統合・分校化・全日制高校と定時制高校の統合

対象高校	彦根西高校 彦根翔陽高校	長浜高校 長浜北高校	信楽高校 (甲南高校の分校化)	瀬田工業高校(全日制) 瀬田高校(定時制)
統合後の学校の所在地	彦根翔陽高校校地	長浜高校校地	(現状どおり)	(現状どおり)
再編年度	平成26年度	平成26年度	平成26年度	平成26年度
想定する学校規模	1学年 6学級	1学年 7学級	1学年 2学級 (本校 4学級)	1学年 全日制 7学級 定時制(夜間) 1学級
学科構成	総合学科 (普通・商業・家庭の系列を設置)	普通科、福祉学科 (高等看護学校併置)	普通科、セラミック・デザイン科 (本校 総合学科)	全日制 機械科、電気科、化学工業科 定時制 機械・電気科

魅力と活力ある県立高等学校づくりに向けて

～滋賀県立高等学校再編計画(原案)について～

県立高等学校の現状と課題

社会の変化

- 生徒の興味・関心、進路に対する考え方の多様化
- 様々な課題を抱える生徒の入学
- 依然として多い編入学による学び直し、転入学を希望する生徒

生徒の多様化

中学校卒業(予定)者数の推移と学校規模の変化

- ピーク時から生徒数が約6,000人減少

【平成22年3月】 【平成22年3月】

中学校卒業生数 20,747人 → 14,439人

- 1学年あたり5学級以下となる学校数は大幅に増加

【平成2年度】 【平成23年度】
45校のうち 4校 → 46校のうち 22校

生徒の志望や進路状況の変化

- 普通科高校への進学傾向の高まり
- 職業系専門学科から上級学校へ進学する生徒の増加

定時制・通信制課程の役割の変化

- 中途退学者や不登校経験のある生徒など多様な生徒が入学
- 職業系専門学科を希望する生徒が減少

- 生徒同士の切磋琢磨する機会の減少
- 選択科目の開設や部活動などの集団活動に制約が生じ、学校活力が低下

これらの現状や課題に対応するため、県立高等学校の再編による環境整備が必要となっています

魅力と活力ある県立高等学校づくりに向けて

生徒一人ひとりの自己実現に向けて、生徒自らの興味・関心や進路希望に応じた学びの提供

幅広い出会いや集団活動を通して、互いに切磋琢磨できる豊かな教育環境の整備

本県の豊かな自然や歴史文化、地域コミュニティなどの地域資源を活かした教育活動の推進

次の視点を基本として
高等学校づくりに取り組みます

魅力ある学校づくり

<多様な学校選択肢等の提供>
生徒の興味・関心や進路希望等に応じた高等学校教育を提供するため、高等学校に対する県民の期待、社会の要請などを踏まえた上で、教育内容の質的充実を図り、魅力ある高等学校教育を展開します

活力ある学校づくり

<豊かな教育環境の提供>
多様な選択科目の開設をはじめ、部活動や学校行事などの集団生活の活性化、施設や設備の効果的・効率的な利用等の観点から、県立高等学校の活力の維持向上を図ります

～H24 H25 H26 H27（年度）

魅力と活力ある県立高等学校づくりに向けて

（多様な学校選択肢等の提供）
魅力ある学校づくり

（豊かな教育環境の提供）
活力ある学校づくり

新しいタイプの
学校の設置

総合単位制高校の設置 [能登川高校の改編]
(彦根東高校・彦根工業高校・長浜北星高校の定時制課程の廃止)

生徒の多様な学習ニーズに対応した柔軟な学びのシステムによる、全日制課程および定時制課程(午後・夜間)併置の総合単位制高校を設置します(能登川高校の改編)。
この高校では、生徒の主体的な科目選択による学習や、様々な学習歴を持つ生徒の「学びあい」を通して、互いの人間性を高め、自己実現に向けて挑んでいく意欲をはぐくむ教育を推進します。
また、これに併せ、彦根東高校、彦根工業高校、長浜北星高校3校の定時制課程(夜間)は廃止します。

農業学科の
小学科改編

長浜農業高校・湖南農業高校・八日市南高校の小学科改編

農業学科の小学科の改編を行い、地域の特色を生かしつつ、消費者や需要者のニーズにあった農業の展開や経営の多角化(6次産業化)などの学習を通して、将来の本県農業の担い手としての資質と能力を育成します。

工業学科の小学科
改編・小学科集約

瀬田工業高校・彦根工業高校・八幡工業高校の小学科改編および小学科集約

細分化された電気系と情報系の小学科を統合し、分かりやすい学科体系に整理するとともに、化学系小学科と建設系小学科を設置する学校の見直しにより、専門学科としての教育内容の充実を図ります。

新しいコース等
の設置

北大津高校・水口高校に「国際文化コース」を設置 [国際学科の廃止]

国際学科で行ってきた国際理解や外国語学習に加え、地域の歴史や文化などを学び、国際的に情報発信する取組などを通して、豊かな国際感覚や多様な文化と共生する態度を養い、地域や国際社会に貢献する資質と能力を育成します。

石部高校に「福祉健康コース」を設置

普通科に福祉を中心として、広く健康などについても学べる「福祉健康コース」を設置し、福祉関連施設での実習など、地域の資源や人材を活かした教育内容の特色化と学校活力の向上を図ります。併せて、併置される三雲養護学校高等部分教室との交流を活かした教育内容の充実を図ります。

長浜北星高校総合学科に「まちづくり系列」を設置

総合学科に「まちづくり系列」を設置し、地元企業や団体等と連携した地域づくりやまちづくり活動を体験的に学習し、将来の地域社会の発展に貢献する資質と能力を育成します。

特別支援学校
との交流

石部高校・伊吹高校・愛知高校に併置される特別支援学校との交流

石部高校、伊吹高校に併置される養護学校高等部分教室、愛知高校に併置される高等養護学校との交流を通して、ノーマライゼーションの理念に基づく教育を推進します。

全日制高校の統合

彦根西高校と彦根翔陽高校の統合

<統合後の学校の所在地:彦根翔陽高校校地>

彦根翔陽高校の総合学科で展開してきた普通・商業の系列と、彦根西高校で培ってきた家庭学科の教育資源を家庭の系列として融合させ、普通・商業・家庭の系列で編成された総合学科を設置し、多様な学びの充実を図ります。また、当該校のみならず、地域全体の学校活力の維持向上を図ります。

長浜高校と長浜北高校の統合

<統合後の学校の所在地:長浜高校校地>

長浜高校と長浜北高校で培われた進学指導のノウハウを活かし、より充実した進学指導体制を構築するとともに、福祉学科や長浜高等養護学校との交流による特色ある学びの展開を図ります。また、当該校のみならず、地域全体の学校活力の維持向上を図ります。

分校化

信楽高校の分校化 [甲南高校信楽分校の設置]

信楽高校を甲南高校の分校とし、学校行事や部活動等の教育活動において本校と連携することにより、学校活力の維持向上を図ります。併せて、セラミック科とデザイン科をセラミック・デザイン科とします。また、セラミックやデザインに関する教育を本校および甲南高等養護学校における学習活動に活用します。
さらに、セラミック・デザイン科において、県外から入学生を募集する仕組みを導入します。

全日制高校と
定時制高校の統合

瀬田工業高校と瀬田高校の統合

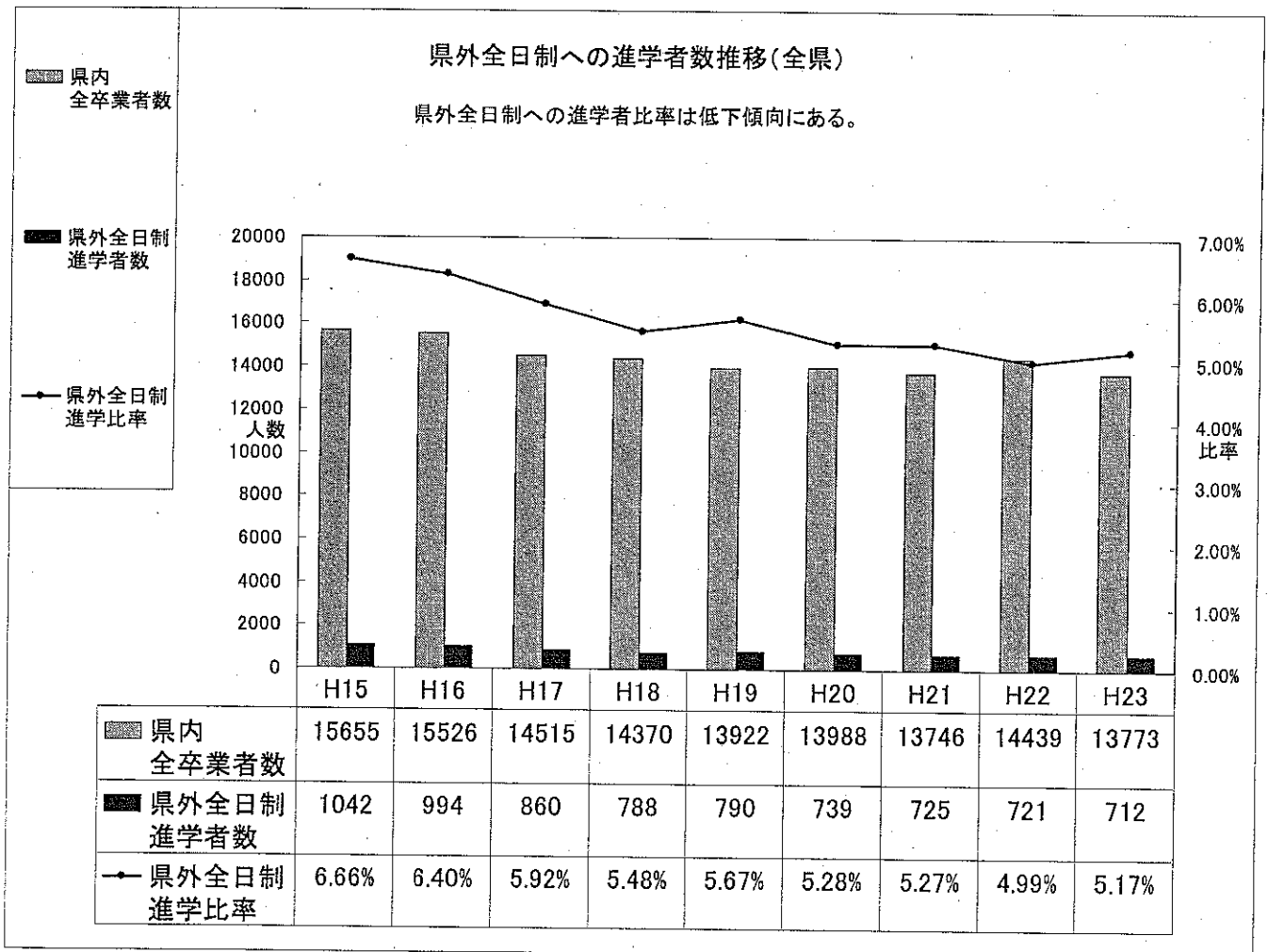
同一敷地内に設置されている瀬田工業高校(全日制)と瀬田高校(定時制)を統合し、全日制・定時制を併置した工業学科として、両校が持つノウハウの蓄積や施設・設備を有効に活用し、専門学科としての教育内容の充実を図ります。併せて、定時制課程の機械科と電気科を機械・電気科とします。

【参考資料】

■ 県立高等学校(全日制)の中途退学者数

学年 / 年度	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22
1年	401	405	336	337	300	264	257	208
2年	182	163	153	145	141	109	101	95
3年	42	44	29	52	38	41	30	32
計	625	612	518	534	479	414	388	335

■ 県外全日制への進学状況



■ 地域内全日制普通科入学者の割合(平成23年度)

中学校所在地	大津地域	湖南地域	甲賀地域	湖東地域	湖北地域	湖西地域	県全体
割合	77.6%	64.6%	75.9%	73.6%	90.7%	90.9%	76.1%